

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年9月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103094号
法人名	有限会社 コウライメディカル
事業所名	グループホーム しらゆり
所在地	鹿児島市高麗町21-28 (電話) 099-251-6633
自己評価作成日	平成23年6月9日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年6月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

中学校や専門学校が近くにあり、明るい笑い声がいつも通りから聞こえてくる風通りのよい、明るい3階建ての施設です。この環境の良い中で入居者が互いに家族の一員として生活ができるように支援し、職員と入居者が共に学び、共に楽しみながら、笑い声が絶えないグループホームづくりに取り組んでおります。季節ごとのイベントや誕生日などは特に大事にし、日一日が思い出に残るよう職員全員で頑張っています。入居者の皆様には勿論、ご家族の皆様のも安心して相談しやすい関係づくりやホームの環境づくりに努力し、入居者が歩いてこられた生活観を大事に、不安なくホームでの生活が送れるよう支援しています。入居者様とのコミュニケーションを大事にするためにも職員間のコミュニケーションを大事に、笑い声が響くホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市内中心部の住宅街にある、マンション型のグループホームである。ホーム周辺は学校、病院、公園などがあり、社会資源にも恵まれた環境にある。「和の心もち、しらゆりのように、優しさに満ちた、施設を目指します」を理念に掲げ、利用者からの「ありがとう」のことばに、職員も感謝の気持ちや思いやりを教わるなど優しさに満ちたグループホームである。家族の絆を大切に、離れていても家族との関係が途切れることがないように、個々に応じた家族の役割を課題に設けた介護計画を作成して、共に本人を支えていく関係を築いている。また、毎年、定期的に行われている家族交流会にはほとんどの家族の参加が得られており、そこでの意見や提案、ホーム独自の家族向けアンケートなどサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。安全管理も徹底しており、ヒヤリハット日誌を毎日作成して、利用者の変化を見逃さないようにしている。共有部分と居室が階違いであるなど、ハード面の不便さはあるものの、職員の力量と工夫でカバーして、利用者が安心して生活できるように支援しているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ネーム・プレートに理念・基本方針を提示し、定例会・研修時に評価または改善策の話し合いを持ち、ケアのスキルアップにつなげている。	理念は玄関、台所、職員待機室に掲示してパンフレットにも明記している。毎年、見直しの話し合いを行って、振り返りの機会としている。毎週の定例会時に理念を確認し、職員は理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域行事や活動に参加、また小学校の文化祭等への参加も心がけている。ホームでの行事には参加の声をかけをしている。近隣の方への笑顔でのあいさつを心がけ、いつでも来訪いただける環境づくりをしている	小学校の文化祭見学や小学生のサマーボランティア、中学生の職場体験や高校生の実習の受け入れなど、子ども達との積極的な交流を行っている。また、地域の防災行事などに参加して、地域住民との交流にも努めている。隣近所とは挨拶やおすそ分けなどで、コミュニケーションを図るように努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の方々とのコミュニケーションを図り、福祉に通じる様々な相談など受け入れられるよう心がけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議事録を活用し、入居者様の状況報告や前回の会議以降の行事等の経過報告をし、参加者の方からの意見・質問をいただき、サービスの向上に活用している。また職員間でもカンファレンスや会議等で議題に上げ、意識向上につなげている。	民生委員、地域代表、家族、行政などの参加を得て2ヵ月に1回開催している。行事報告やホームでの困難事例についての意見やアドバイスなどもらい、安全対策やサービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>介護相談員の受け入れを行い、疑問等は介護保険課に電話や訪問時にお聞きしている。</p>	<p>生活保護受給者もおおり、日頃より連携を図り協力関係を築くように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修やカンファレンスで身体拘束について理解を深め、車椅子の方々など座らせたきりにならないよう配慮し、安全なケアの方法をその都度話し合うよう努めている。本人の行動の制限や妨げにならないよう見守りや声かけをしている。</p>	<p>毎年、定期的に勉強会を行い、職員へ身体拘束をしないことの意識付けをしている。日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなく着いて行き見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修やカンファレンスで知識や理解を深め職員全体で防止に努め、機会がある都度にご家族や訪問される方々にもご意見・ご相談をいただいている。職員間でも相談しあえる関係を作っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で勉強し、支援体制を整えていけるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、重要事項説明書の項目ごとに説明を行い同意を得るようにし、疑問・不安などその都度にお受けしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各階に意見箱を設置して定期的に確認し、家族交流会の場や家族会、また来訪時にアンケートや問いかけで、いただいた意見・要望をミーティングで話し合い、サービスに反映されるようにしている。また運営推進会議での意見も参考にサービスの向上に努力している。</p>	<p>家族交流会、日常の面会時、電話連絡時に職員、管理者が話をする機会として家族から意見、要望を聞き出すようにしている。また、ホーム独自に家族向けアンケートを年2回実施している。出された意見、要望については職員全員で話し合って運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎週1回のミーティングまたは必要時に意見交換を行い、支援の見直し、スキルアップにつないでいく。</p>	<p>職員間で共有すべき内容については、毎朝夕の申し送りを利用して利用者の情報の共有を図り、職員の意見を反映するよう努めている。また、ヒヤリハット日誌を作成して対応なども話し合っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>定期的に同系列法人の関係者で報告・問題等の提示を行い、情報の共有・見直しを図り職場環境の整備や向上につなげるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修計画を作成し、研修を行っている。外部研修の案内も行い、参加の機会を作り、情報交換する場を作るようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同法人系列のグループホームの管理者同士の交流・会議を定期的に行っている。また研修会等で知り合った方々と情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の機会を多く持ち、ご家族からの情報など参考に本人の思いや希望を把握し、本人の取り巻く背景も理解し、コミュニケーションの構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご自宅や施設等に赴き事前の面談を重ね、本人・家族の思いや希望を傾聴し、支援方法を職員間で話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望に地域包括センターや福祉用具関係者・民生委員に相談を行い、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食材の下ごしらえや洗濯物たたみなどできる範囲でお手伝いをしていただきながら、会話の時間を持つことで時間の共有や協力しあえる関係を築いていけるように努めている。		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況を月1回の通信や必要時に報告・相談を行い、ご家族の訪問されるきっかけを多くもてるようにし、他科病院受診や外出などに協力をいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所だった方々にも訪問していただけるよう、交流会への参加をご案内をしたり、馴染みの方々にも希望する方に毎月の通信で情報をお知らせしている。	友人知人が訪ねやすいように配慮している。また、電話の希望などにも対応して、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置に配慮して、会話やレクリエーションが楽しめるよう工夫し、協力し合い生活が営め孤立することのないように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去された方々・御家族にも面会や電話など行い、関係を保つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の言動や表情・動作の中からニーズや不安等を汲み取り、ご家族に相談・協力を得ながら希望に添えるよう努めている。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。困難な場合は表情、言動、家族の情報などから把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族・親族から情報を得、過去の生活暦や価値観の情報を得よう努め、知りえた情報は職員間で共有し合えるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを知るため、申し送りの徹底やカンファレンスを利用し、本人のできる可能性を職員全体で把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の要望・意見を伺い、本人が自分らしく、希望する生活が送れるように支援している。またカンファレンスなどで内容の確認・見直し、計画作成に反映させている。	本人・家族の思いや希望、職員の意見など反映した本人本位の介護計画を作成している。本人と家族の絆を大切にして「家族との関わり」を課題に設け、家族の理解を得て家族の役割もサービスに取り入れた介護計画を作成している。また、月2回カンファレンスを行って、見直しに活かしている。	

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や日誌等の確認、申し送りの徹底を行い、毎週木曜の会議で情報の共有を図り、実践や計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況に応じて病院受診や医療処置の付き添いなどに柔軟な対応を図っている。また必要時訪問サービスを受けられるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや学生の研修の受け入れを行い、民生委員との意見交換の場を設け、可能な限り地域での暮らしを楽しめるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連事業所の協力医だけでなく、必要な他科受診を本人・家族の希望で行っている。また必要時往診をお願いしている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関とは24時間体制で連携が図られている。	

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関係機関の看護師と相談・助言を受けられる関係を築き、常に心身の状況に応じた援助ができるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に必要に応じた情報の提供を行い、職員が見舞うことで安心して入院生活が送れるようにしている。また家族・親族とも連絡を密にとり、本人の状態等の情報の共有化を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	研修の議題に上げ職員の意識の向上を図り、入居時や家族会・面会の時などに話し合い相談を行っている。	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成して、入居時に家族の希望を聞いてホームの方針を説明している。看取り介護について、定期的に勉強会を行って職員は方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	関連医療機関の協力や研修を行い、実践力を身につけ、事故発生時の対応の仕方を全職員が同じようにできるようにしている。		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施。消火器やエレベーターの点検を定期的に行い、訓練等は近隣の方にも声かけを行っている。	全職員が交代制で夜勤の担当になり、現実的な避難訓練を行っている。また、近隣の医療施設との協力体制も話し合われており、スプリンクラー、通報設備も設置されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報・秘密保持の研修・ミーティングを行い意識の向上を図り、プライドやプライバシーに配慮した声かけをし、入浴や排泄の介助に希望あれば同性の職員で行うようにしている。	定期的に研修を行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。利用者個々に応じて特に異性介助には配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望が表現できるように選択肢の提示・説明を行い、可能な限り自己決定ができるように常に意思確認を怠らないようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調や希望に合わせた起床時間や食事時間・入浴・昼寝などゆとりを持って行うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定を大事にしながら、不十分なところや、表現の出来にくい方は、趣味・趣向に添えるよう援助行っている。また訪問美容室の利用で身だしなみを整えられるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好を把握し、旬の食材を取り入れるようにしている。台所の音やにおいで食事に関心を持っていたき、食材の下ごしらえなどできることをお手伝いいただくことで、食への関心を高めるようにしている。	家庭菜園でできた野菜の収穫を楽しんだり、料理の下ごしらえも出来ることは、手伝ってもらったり個々の力を活かした支援を行っている。ときには、おにぎりを持って公園に出かけたり、花見の季節は外で弁当を楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の記入や検食・水分チェック表を利用し、職員が把握しやすいようにしている。心身の状態に合わせた食事形態を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけを行い、個々の状況に応じた介助を行っている。就寝前は職員がお手伝いし、義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排便・排尿記録を利用し、リズム・行動パターンの把握に努め、オムツ着用でも可能な範囲でトイレでの排泄ができるようにしている。	職員のこまめな声かけ誘導で日中はトイレでの排せつを支援している。排せつチェック表にて健康管理を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分記録や排便記録を利用し、リズムを把握。メニューやおやつに工夫し、便秘対策を行っている。必要時には主治医に相談している。		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間にとらわれず、タイミングや希望に合わせて、仲の良い方同士の入浴やシャンプー・入浴剤など個人の好みや家族の希望に応じられるようにしている。	週3回を目安にして夕方近くの時間帯での入浴を支援している。また、希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。自立している利用者もあり、職員の見守りで安心して入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを把握し、体調や希望を考慮し、いつでも個々の状態に合わせて休息が取れるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書を常に確認し、効能・種類・服薬方法を全職員が把握できるようにしている。心身の状況に変化が認められたときは、記録に残し医療機関との連携が図れるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	他入居者様のお世話や、できるところでの役割を担っていただくことで、生きがいや生活に楽しみを持っていただけるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	関係機関の病院にリハビリを兼ね外出。天気や体調・希望に応じ散歩や買い物に出かけ、気分転換や五感の刺激が得られるようにしている。	日常的には近所のパン屋、青果などの買い物に散歩を兼ねて出かけている。季節を感じられるように木市に出かけたり、弁当持参で花見に出かけたりして外出を支援している。	

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族・本人と所持される金銭額や管理方法について取り決め、本人の安心感や満足感を得られるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の使用希望の時には、職員は席を外す等プライバシーに配慮し、手紙など希望があるときは代読や代筆・投函を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の好みを大切に希望の音楽やテレビ、季節ごとの飾りや生花など明るく、親しみやすい居心地の良い共有スペースになるようにしている。</p>	<p>共用空間は1階でキッチン、リビング、トイレがある。2・3階が居住空間になっており、利用者はエレベーターで自由に行き来している。安全管理のためにモニターテレビが設置されている。1階の和室には仏壇が置かれ、手を合わせる利用者もいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仏間がありソファが設置され、一人でも、仲のいい方々とでもゆっくりと過ごせるような空間づくりをしている。</p>		

鹿児島県 グループホームしらゆり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みのものや、使い慣れた家具や日用品など家族の方に準備していただいたり、家族の写真など飾り、居心地のよい空間づくりをしている。	タンスや日用品、家族の写真、化粧鏡など好みのもが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室入り口にプレートで表示している。また廊下・トイレに手すりがあり安全面に配慮している。個々の身体状況に応じ、ポータブルトイレや、歩行器使用を家族や福祉用具業者と相談しながら自立した生活が送れるように配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームしらゆり

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームしらゆり

66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない